

平成30年度 河川等水質調査結果

平成31年1月28日採取

	調査地点(類型)	水温(°C)	pH	BOD(mg/L)	SS(mg/L)	DO(mg/L)
その他	烏川(E)	10.2	8.0	0.6	1.0未満	12.2
	仲川(E)	10.4	7.5	6.9	5.4	10.6
	宮川(E)	12.4	7.9	1.0	2.8	11.2
	唐人川(E)	20.9	7.6	0.6	1.0未満	7.1
	川奈川(E)	8.2	7.4	3.8	1.6	11.0
	富戸川(E)	14.2	7.7	2.6	4.0	8.0
	対島川(E)	9.2	7.3	12.0	13.0	10.1
	八幡野川(E)	6.8	7.5	14.0	3.6	4.3
一碧湖	ボート乗場(C)	6.8	7.4	-	3.0	12.2
	中央部(C)	6.9	7.3	-	3.0	12.1
	荻取水口(C)	5.9	7.0	-	4.4	10.6
	橋大池側(C)	6.2	7.2	-	7.6	11.8
	沼地(C)	6.4	7.6	-	4.2	13.2
伊東大川支流	本郷川(B)	10.8	7.7	1.0	2.0	11.6
	荻水路(A)	7.1	7.3	8.1	11.0	11.8

生活環境の保全に関する環境基準(河川) 抜粋

類型	利用目的の適応性	基準値			
		水素イオン濃度(PH)	生物化学的酸素要求量(BOD)	浮遊物質(SS)	溶存酸素量(DO)
A	水道2級、水浴	6.5以上8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上
B	水道3級	6.5以上8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上
C	水産3級、工業用水1級	6.5以上8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上
E	工業用水3級、環境保全	6.0以上8.5以下	10mg/L以下	※	2mg/L以上

※ ごみ等の浮遊が認められないこと

結果について

一部の河川においてBODが、やや高い数値となりましたが、概ね良好でした。
 なお、BODの数値が高い河川は、生活雑排水の放流が原因と思われます。

平成30年度 伊東市河川等水質調査業務 環境基準値超過表

地点名	採水年月日	天候	気温	水温	調査項目	基準値(類型)	基準値(数値)	測定値	推定される超過等の原因及びその対策等
対島川	2019/1/28	曇り	13.0℃	9.2℃	BOD	E	10mg/ℓ以下	12	水量がかなり少なく、河床に藻類の繁殖が見られた。SSが高く大腸菌群数も多いことから、生活雑排水等による影響と考えられる。
八幡野川	2019/1/28	曇り	12.0℃	6.8℃	BOD	E	10mg/ℓ以下	14	河川の石と石の間にできた水溜まりに油の泡のようなものが確認された。DOの値が低いことから、生活雑排水等による富栄養化的な原因ではないかと考えられる。
荻水路	2019/1/28	晴れ	9.9℃	7.1℃	BOD	A	2mg/ℓ以下	8.1	浄化槽臭があり、白濁していることから生活雑排水又は、工場等の排水の影響を受けていると考えられる。
荻水路	2019/1/28	晴れ	9.9℃	7.1℃	大腸菌群数	A	1000MPN/ 100m ℓ 以下	170,000	

・基準値(類型)は、県告示による類型指定を受けている地点についてはその基準値、そうでない地点については環境省告示による下限の基準値(河川はE類型、湖沼はC類型)とする。